

# 東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10  
東京労働会館6F

tel 03-5395-3165 fax 03-3946-6823

東京社保協

検索



## 中央社保学校開催



「人権といのちが輝く社会保障をともに」をテーマに「中央社会保障学校 in いしかわ」が8月29～31日、金沢市内で開催されました。3日間で延べ千人を超えた参加者数は、これまでの中央社保学校で最多の記録とのことでした。

初日、井上賢二中央社保学校校長（大阪保険医協会副理事長）が、「世論調査でも多くの国民が望んでいるのは社会保障の充実であり、『権利としての社会保障』を深めよう」と主催者あいさつを行いました。続いての学習講演では、小森陽一・九条の会事務局長が「憲法9条を巡る情勢と私たちの課題」、井上英夫金沢大学名誉教授が「平和的生存権と人権としての社会保障—社会保障レボリューションの提起」と題して講演、両者の対談（上写真）では「参院選では市民と野党共同が、改憲勢力を抑えた。国の予算を戦争に向けていくのか、社会保障に向けていくのか、憲法9条と25条は一体であり、政権をかえる運動を前進させよう」と述べました。中央社保学校の詳細は社会保障誌冬号に掲載予定です。

## 都議会開会日行動

9月3日、都庁前で恒例の都議会開会日行動が行

われ、220名が参加しました。

主催者を代表して荻原東京地評議長は「都知事選まで1年、福祉より大規模開発優先の都政を転換させよう」と開会あいさつ。駆けつけた日本共産党のとや都議から連帯しての情勢報告がありました。

各団体を代表して、武田東商連副会長が「消費税10%増税中止を」、増田東京公害患者と家族の会事務局長が「都はぜんそく患者の医療費助成を縮小してきた、医療費負担軽減を取り戻そう」、菅谷東京高齢期運動連絡会事務局長が「後期高齢者医療制度の保険料を引き下げ、窓口負担増を止めさせよう」とそれぞれ訴えました。

最後に、知事室に向かって「保育所増やせ」「卸売り市場を守れ」「国保料を下げろ」などと参加者一同シュプレヒコールを行いました。

また、これに先立ち東京社保協として「都民のいのちとくらしを守り、都民要求の実現を求める要請書」を都知事担当秘書課長に手渡し、子どもの医療費助成の拡充、子どもの国保料均等割軽減助成の創設・軽減、介護職員処遇改善への財政支援等の要望項目について説明し、知事に伝えてもらいたいと要請しました。参加した年金者組合からは、補聴器への助成や松戸市が作成している「年金マニュアル」を都でも作成配布して欲しい。高齢期運動連絡会からは、シルバーパス調査の結果を公表して、制度を充実させて欲しい。福祉保育からは、消費税増税になると障害者施設がその分負担しないとならない、その分を補助して欲しい等の要望が出されました。



# 各地域・団体の取り組み

## 中野社保協



中野なんでも相談実行委員会は8月22日、通算103回目となる「なんでも相談会」を中野駅北口広場で開催し、健友会職員、医学生、弁護士、区議など25名のスタッフが参加しました。

近所の人に連れられて来た50代男性は、以前糖尿病と言われたが無治療。最近上肢の震えがひどくなってきたが、派遣切りにあって今は無保険と相談。特診券で共立診療所を受診し、生保受給にもつなげる事ができました。18年以上勤めた会社を退職しようと思うが有休をほとんど取得していない、どうにかなるものか?など、医療や介護、法律、労働分野にわたる14件の相談が寄せられました。

(8/22付 実行委員会ニュースより)

中野社保協は、9月中野区議会定例会に向けて「中野区として、東京都にシルバーパスの費用について、利用しやすく、また経済的な負担軽減にもつなげるよう所得に応じて費用区分を増やすよう求めてください」との陳情を提出しました。

「東京都シルバーパス」の費用負担額は、1,000円(住民税非課税)・18年の合計所得金額125万円以下)か20,510円(同課税)の2通りです。名古屋市の敬老パス調査でも、パスによる外出機会の増加など、高齢者の社会参加、高齢者の福祉向上に大きな役割を果たしていることが示されており、中野区の南北移動がバスに限られている交通特性からも移動手段としてのバスは欠かせない。そうした状況で高齢者が安心して生活するために、公共交通サービス

の利用しやすさを確保することは特別な意味を持っているとして「シルバーパスに所得に応じた費用区分を増やすよう、中野区として東京都知事あてに意見書を提出して欲しい」と陳情理由を述べています。10月初旬の委員会における陳情審議に向けて、中野社保協では意見陳述を行う準備を進めています。

## 渋谷社保協

渋谷社保協は、8月29日に東京土建渋谷支部会議室にて第28回定期総会を開催し47人が参加しました。第一部は総会、第二部は西坂昌美(東京民医連事務局次長)講師が「社会保障改悪の現状・行方・課題」と題して記念講演が行われました。

総会では、福井会長が「皆さんの奮闘に敬意を表します。激動の情勢です。1年の闘いを総括し、しっかりした方針を立てて、これからの闘いに活かしていきたい」と挨拶をしました。来賓挨拶では、立憲民主党の治田学区議が「地域みなさんと力を合わせて政治を変えていきたい」、共産党からは4人の区議団を代表して田中正也区議団長が「参議院選挙で市民と野党の共闘は前進し、展望を切り開いています。この渋谷でも国保、保育などの請願等要求実現に向けて、一緒に頑張りましょう」とそれぞれ連帯の挨拶がありました。

嘉瀬事務局長が、区議会への請願、何でも相談会の継続、学習、宣伝・署名などの1年間の活動総括、方針では、安倍政権が狙う介護・医療・社会保障改



悪を許さないたたかいとともに、区に対して、年内に国保保険料値下げの請願をしていくことをはじめ、区民の暮らしを守るための要求実現に取り組んでいくことを提案しました。

討論では、代々木法律事務所の林弁護士、生活と健康を守る会の藤代さん、公的・保育の会から小山さん、新婦人の島先さんから発言があり、議案を深めました。報告と討論での発言を受けて2018年度総括、2019年度の方針案、予算、役員体制（会長：福井・事務局：嘉瀬など）案が承認されました。

（渋谷社保協ニュースより）

## 足立社保協

9月13日、第13期足立社保協総会が東京土建足立支部会館で開催されました。総会の前半は「国保問題を考える」学習会を窪田（東京社保協事務局次長）氏を講師に行いました。

保険料の連続引き上げが強行される中で、国保加入者の深刻な実態がさらに進行していることが強調されました。民医連の「経済的事由による手遅れ事例2018年」の調査結果を引用しながら、厳しい生活実態の中で保険料や窓口負担が重荷になり、受診ができずに手遅れ死亡になっており、生活保護などの制度運用の狭さ、申請主義の限界、地域での社会的孤立などとともに、東京では高家賃など高齢者の住宅確保も要因としてあるとの報告がありました。日本の社会保障制度の貧困、不十分さを改めて垣間見

ることができ、その意味で「人権としての社会保障」制度充実が求められていると話されました。国保が社会保障制度として国民皆保険制度の根幹であることを再確認しました。

また、主な自治体や東京23区の「所得割」「均等割」の額が紹介され、国が公費負担を削減する中で、事業主にも保険料の負担がある健保に比べ、加入者全員に保険料を賦課する国保の保険料負担が限界にあることを指摘、足立区の保険料負担がトップクラスであること、今後の闘いとして足立区と同時に「23区統一保険料方式」の中で、東京都や区長会などへの申し入れが重要と話されました。

総会の後半では、事務局より活動総括及び方針、決算・予算が報告、提案され、満場一致で承認されました。また、役員・監事人事では14名を選出、新会長に大滝氏（足立区労連）、事務局長に小嶋氏（再任、健和会）が承認されました。

（足立社保協事務局より）



## 「社会保障」をご購読ください

「資料と解説」が豊富で、激動する情勢や  
社会保障制度がよくわかる！役に立つ！  
学習や運動にぜひご購読を

- 定期購読（年6回）  
3000円（送料別）  
1部500円（送料別）
  - 申込みは東京社保協へ  
TEL 03-5395-3165  
FAX 03-3946-6823
- \*ホームページからも注文できます



# STOP10



9月12日午後、衆議院第二議員会館会議室にて「10月消費税10%ストップ!

9・12 国会内集会」が開催されました。当日は、全国からの600名を超える参加者で早々と部屋が満杯になり、急遽議員会館前での集会を同時並行で行う事となり、怒りの強さを改めて表明する場となりました。

集会では、10%増税ストップを求める国会への署名が108万筆を越えたことが報告され、立憲、国民民主、共産、れいわ新撰組の各党代表や、参加者から熱い訴えが行われ、「9月一杯最後まで諦めず声をあげ続け、たとえ増税されても消費税を引き下げる運動につなげ、力関係を変えてゆこう」と決意を固めました。



# 巢鴨地蔵通り「4の日」



9月14日、土曜日11時から巢鴨地蔵通り商店街入口にて「4の日」宣伝行動を行いました。34名が参加、「改憲NO!」と「社会保障制度拡充を求める」署名はがき入りのティッシュ約8,500個を配布しながら、署名への協力を訴えました。

「これ以上年金が下げられたら生活が大変」「医療費があがったら困る」「消費税増税は止めてほしい」など、署名をしながら怒りや不安を口にされる高齢者が多くいらっしゃいました。中には「こんなにたくさんの方がいるのに、署名をする人が少ないからやってもムダ」と言いながらも署名される方もおられました。2時間の行動で219筆の署名が集まりました。



## 東京社保学校

11月10日(日)10~16時半  
けんせつプラザ東京

資料代 500円

### 第1講義

「2020年代の社会保障改革の行方と課題」

芝田 英昭 氏 (立教大教授)

### 第2講義

「権利性が明確な『生活保障法』に」

林 治 氏 (弁護士)

### 第3講義

「都民によりそう明日の都立病院へ」

氏家 祥夫 氏 (都立病院の充実を求める連絡会代表)

**主催:東京社保協**

## 「4の日」定例宣伝行動

巢鴨地蔵通り商店街入口

・10月14日(祝)11時~13時

巢鴨駅

・11月14日(木)12時~13時

**主催:東京社保協・中央社保協**